

ウィズコロナ時代における大阪大学の新・活動基準の目安（令和2年11月1日～11月30日）

※10月1日から11月30日まで行動基準レベルの変更なし

は11月1日以降の行動基準レベル

は大阪モデル「非常事態（赤色）」点灯時に実施する可能性がある行動基準レベル

				レベル								
				0	0.3	0.5	1	2	3	4	5	
				100%			~70%	~50%	~30%	~10%	9%~	
登校率				100%			~70%	~50%	~30%	~10%	9%~	
	授業	入校	学部生	1年	特に制限無し	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・受講生のアクセスポイント利用は登校可	・実習・実験受講生のみ登校可 ・受講生のアクセスポイントは利用可	・登校停止 ・アクセスポイント閉鎖	・登校停止 ・アクセスポイント閉鎖
				2年								
				3年								
				4年								
				5年								
		6年										
		院生	修士	特に制限無し	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・受講生のアクセスポイント利用は登校可	・実習・実験受講生のみ登校可 ・受講生のアクセスポイントは利用可	・登校停止 ・アクセスポイント閉鎖	・登校停止 ・アクセスポイント閉鎖	
			博士									
		教員		特に制限無し	授業での入校可	授業での入校可	授業での入校可	授業での入校可	授業での入校可	授業での入校可	メディア授業のための入校可	登校停止
形態		講義	メディア	メディア授業の積極的利用	メディア授業の積極的利用	メディア授業主体	メディア授業主体	メディア授業主体	メディア授業主体	メディア授業が標準	メディア授業のみ	実施可能なメディア授業のみ
	対面式		要配慮者への対応を前提に実施可	・要配慮者への対応を前提に実施可 ・室定員2/3以下で実施	・学部専門科目（3年次以上）及び、大学院の科目は可 ・上記以外は申請による許可 ・室定員2/3以下で実施	・学部専門科目（3年次以上）及び、大学院の科目は可 ・上記以外は申請による許可 ・室定員50%以下で実施	・申請による許可 ・室定員50%以下で実施	停止	停止	停止		
	実習・実験・演習	要配慮者への対応を前提に実施可	・要配慮者への対応を前提に実施可 ・室定員2/3以下で実施	・学部専門科目及び大学院の科目は可 ・上記以外は申請による許可 ・室定員2/3以下で実施	・学部専門科目及び大学院の科目は可 ・上記以外は申請による許可 ・室定員50%以下で実施	・申請による許可 ・室定員50%以下で実施	・実習・実験については申請による許可 (国家資格等延期不可能なものに限る) ・室定員50%以下で実施	停止	停止			
研究	入校	学部生	-	特に制限無し	-	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	研究室での同時登校数を7割に制限	登校停止	登校停止		
			院生	修士	-	-	-	研究室での同時登校数を5割以下に制限	新型コロナウイルス研究のための登校可（同時登校5割以下）	登校停止		
		博士	-	-	-	-	-	必要最低限の登校可	・新型コロナウイルス研究のための登校可 ・研究資産維持のための短時間登校可	研究資産維持のための短時間登校可		
	教員		特に制限無し	-	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	研究室等において、交代制勤務の導入による登校者数の制限	必要最低限の登校可	・新型コロナウイルス研究のための登校可 ・研究資産維持のための短時間登校可	研究資産維持のための短時間登校可	
	活動	研究・実験作業	要配慮者への対応を前提に実施可	-	要配慮者への対応を前提に実施可	要配慮者への対応を前提に実施可	要配慮者への対応を前提に実施可	新たに開始する実験の制限	継続中の実験の中断処理のみ	新型コロナウイルス研究以外の実験活動停止	学内での実験活動停止	
		ゼミ等	要配慮者への対応を前提に実施可	-	オンラインを推奨するが、室定員2/3以下で対面形式も可	・オンラインを推奨するが、室定員50%以下で対面形式も可	・オンラインを推奨するが、室定員50%以下で対面形式も可	オンラインのみ	オンラインのみ	オンラインのみ	オンラインのみ	
フィールドワーク		行政による移動制限等を考慮	-	行政による移動制限等を考慮	行政による移動制限等を考慮	行政による移動制限等を考慮	行政の自粛要請に従う	行政の自粛要請に従う	停止	停止		
事務	テレワーク等		適用可	-	-	テレワーク30%程度	テレワーク50%程度（2チーム）	テレワーク70%程度	危機管理要員と施設維持要員のみ入校	施設維持のための最低限の要員の短時間入校		
	時差出勤		適用可	-	-	推奨	推奨	積極的利用	積極的利用	積極的利用		
会議・イベント	学内	対面式	規模	人数制限無し	-	・会議は室定員2/3以下で実施 ・イベントは室定員50%以下で実施	室定員50%以下で開催	・室定員50%以下で開催 ・陪席を含め100名以下	・室定員50%以下で開催 ・陪席を含め20名以下 ・危機管理系会議は20名超可 ・入試委員会等特殊会議は申請による許可制で20名超可	・室定員50%以下で開催 ・危機管理系会議のみ可	停止	
			内容	制限無し	-	制限無し	制限無し	制限無し	制限無し	危機管理系のみ	停止	
	オンライン形式		選択可	-	推奨	推奨	主体	標準	原則オンラインのみ	オンラインのみ		
	学外	主催	全国の蔓延状況や行政による規制等を考慮	-	全国の蔓延状況や行政による規制等を考慮	全国の蔓延状況や行政による規制等を考慮	全国の蔓延状況や行政による規制等を考慮	行政の自粛要請に従う	行政の自粛要請に従う	停止	停止	
参加		行政による移動制限等を考慮	-	行政による移動制限等を考慮	行政による移動制限等を考慮	行政による移動制限等を考慮	行政の自粛要請に従う	行政の自粛要請に従う	停止	停止		
共同利用インフラ	図書館		特に制限無し	-	-	座席配置変更による入館者数の制御	学外者入館の制限	閲覧室使用停止	・窓口業務の停止 ・宅配サービス	施設維持のための要員の短時間の入館		
	commons		特に制限無し	-	-	座席配置変更による利用状態の制御	利用者数の制限	使用停止	使用停止	使用停止		
	学内連絡バス		通常運行	-	-	乗車数制限（低）	乗車数制限（高）	運行数調整	運休	運休		
課外活動			感染防止策の策定	-	-	キャンパス内外での屋内集会の禁止	活動内容により一部許可	非接触、用具共用のない屋外活動の許可	屋外での個人練習のみ許可	全面停止		
学外者の入校				特に制限無し	-	-	不要不急の入校自粛の要請	不要不急の入校自粛の要請	大学からの要請以外の入校禁止	大学からの要請以外の入校禁止	禁止	